

「介護は受けたくない」と思う高齢者
 「親を介護現場にゆだねるのは申し訳ない」と思う子ども世代
 「介護の仕事が辛い」と思う介護スタッフ
 世界中の人が介護に出会おうと不幸になるとは思っていないか？
 日本にはそうじゃないとこけっこうありますよ〜

加藤忠相(株式会社あおいけあ 代表取締役)



寄り添い、
 支え合って、
 人は生きていく——

世界中が注目する介護施設「あおいけあ」

そこは人生を豊かに生きるためのヒントにあふれていた。

神奈川県藤沢市にある「あおいけあ」は、国内外からの視察や取材が後を絶たない、今もっとも注目を集める介護施設です。施設は常に、利用者や介護スタッフの笑い声で溢れ、訪れた誰もが「ここで過ごしたい」「ここで働きたい」と言います。その人らしい生活を送れるよう支える自立支援ケアは、あおいけあ流として多方面に影響を与えています。また、自主上映会が1年間で800回以上開催されるなど全国各地で話題を呼んでいる映画「ケアニン〜あなたでよかった〜」のモデル施設にもなっています。



認知症になったって、料理も、子守りも、恋もする。

本作は、プロデューサーから「すごい施設があるからドキュメンタリーを撮ってくれないか」と依頼された“僕”（監督）が、カメラを片手に1年間密着。介護にまったく馴染みのない若手ドキュメンタリー監督が、人生を謳歌している認知症のお年寄りたちの姿に驚きながらも、話題の介護施設のウラやオモテ、その秘密も明らかにしていきます。ナレーションは、「ケアニン」で主人公の新人介護福祉士・大森圭役を好演した戸塚純貴、監督は同作でメイキングディレクターを担当した佐々木航弥が務めています。映画のモデル施設に1年間密着取材を取行した本作は、まさに「リアル版ケアニン」と言えます。

認知症になったら、人生終わりだと思ってた。

介護施設に来るのもほぼ初めてだし、認知症の人と話したこともない僕がこのドキュメンタリーなんて撮れるのだろうか。しかし、1年が経つ頃には僕の中で何かが変わり始めていた……

笑顔あふれるお年寄りたち、そしてケアニンと僕のかげがえのない1年間の記録——

ケアニンとは……

介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、
 自らの仕事に誇りと愛情、
 情熱を持って働いている全ての人。



ナレーション 戸塚純貴

監督・撮影・編集：佐々木航弥 企画・プロデュース：山田秀孝
 主題歌：香川裕光「小さなつぼみ」 特別協力：加藤忠相(あおいけあ) 制作：山田秀孝/藤田麻衣
 アシスタントプロデューサー：小川明日香 音楽：若狭真司(未審制作所)
 宣伝プロデューサー：小早川真久 アートディレクター：他谷 真 企画協力：藤村麻実也
 Special Thanks：佐々木淳(悠邦会)/下河原圭彦(シルバークラウド)/鈴木 真
 制作・配給：ワンダーラボラトリー 制作協力：あおいけあ/おたがいさん/いどばた/藤
 製作・映画化：僕とケアニン 制作委員会(ワンダーラボラトリー/JS西日本コミュニケーションズ)
 ©映画「僕とケアニン」制作委員会 www.bokucare.com

